



## 2006年度BCAO分科会報告会

# 調査・分析分科会の活動

2007年4月11日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)  
調査・分析分科会

## ◆目的

- 既存の事例の再整理と体系化
- 新規調査・分析

## ◆体制、メンバー

- 座長 大林厚臣（慶応義塾大学）
- 副座長 水越 熏（イー・アール・エス）
- メンバー数 47名（3月時点）

## ◆会合

- 合計9回開催

# 活動の経緯



月	4~6	7~9	10~12	1~3
会合 (9回)	● ●	● ●	● ● ●	● ●
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動目標</li> <li>・調査対象</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策（大林）</li> <li>・SEMI-Jの取組み（黄野）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度活動方針</li> </ul>
①整理分析のフレームワーク検討班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報分析のフレームワーク審議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の方針</li> <li>・分析方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目の検討</li> <li>・プレテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施</li> <li>・集計</li> </ul>
②事例収集班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集方法</li> <li>・課題（著作権etc.）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集</li> <li>・共有化方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通ホルダー活用（Yahooブリーフケース）</li> </ul>
③IR情報収集班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上場企業のIR情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定リスク</li> <li>・不祥事対応とリスクコミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報開示の評価方法</li> </ul>	

## ◆整理・分析のフレームワーク検討班

- BCPに関する企業アンケート調査の計画検討
- 会員企業を対象とした第1回アンケート調査を実施

## ◆事例収集班

- 事例収集の目的、集積方法、問題点などを議論
- データをYahooブリーフケースで共有化

## ◆IR情報収集班

- 各社が開示しているIR情報から、①各社が想定するリスク、②不祥事対応事例、③情報開示の評価指標、について調査・検討

## ◆ 目的

企業における事業継続の取り組み状況を把握する

## ◆ 調査対象

BCAO会員企業（208社）を対象に実施

## ◆ 実施時期

2月5日発送、2月28日回収期限、現在集計中

## ◆ 設 問

内閣府「自己評価項目」をベースとし、BCへの取り組みレベルに関するやや詳細な設問を追加。選択方式中心で28設問。

## ◆ 回収状況

回答企業数：100社（回収率48%）

製造業24、サービス21、情報通信13、金融・保険11、建設業7

本社所在地：東京66、大阪9、その他20

（数字は全100社中、複数回答あり）

## 【全体】

- BCP：策定済19、策定中41
- 想定リスク：地震55、火災31、システム障害29、風水害22、伝染病20

## 【BCP策定の背景】

- BCP策定を開始した理由：IR、CSR等のため39、災害・事故の教訓27、政府・自治体・経済団体等の推奨25
- BCP策定上の課題：BCPに関する情報不足55、人手が足りない48、代替オフィス等の対策コストが高い47
- BCP策定の意義：非常に意味がある72、意味がある20

（数字は全100社中、複数回答あり）

## 【BCPの策定内容】

- 重要業務の決定：実施済 39
- 目標復旧時間：設定済 33
- バックアップオフィスの確保：ある 36  
（うち半数が十分なスペースを確保）
- 情報システムのバックアップ体制の構築：  
実施済 50、今後行う予定 10
- 自社施設の耐震診断：実施済 52
- 自社施設の地震対策（耐震化）：実施済 62  
（うち全社で実施 33）

（数字は全100社中、複数回答あり）

## 【災害時の資金手当】

- 物的損害のみをカバー14、物的損害＋非常時の操業資金も準備25
- リスクファイナンス：必要を感じる44、検討中18、実施済6
- 防災格付融資：必要を感じている＋検討中＋実施済64

## 【BCAOのヒアリングに】

- 応ずる31、応じない57



## ◆体制

座長：渡辺研司（長岡技科大）

副座長：水越 熏（イー・アール・エス）

## ◆活動目標

- 第1回アンケートの分析、企業ヒアリングを中心に問題点の深堀り
- 会員外企業を含めた第2回アンケート調査の計画、実施（秋口を目途）、分析
- 事例収集は継続検討

# 特定非営利活動法人 事業継続推進機構



A Specified Non-Profit Japanese Corporation  
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)

本部:

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館ビルB3階

TEL:03-5521-2235 FAX:03-5521-2236

Eメール:bc@bcao.org

ホームページ:www.bcao.org

支部:

〒553-0006

大阪府大阪市福島区吉野4丁目29番20号大阪NPOプラザ内115号

TEL:06-4804-6761 FAX:06-4804-6762